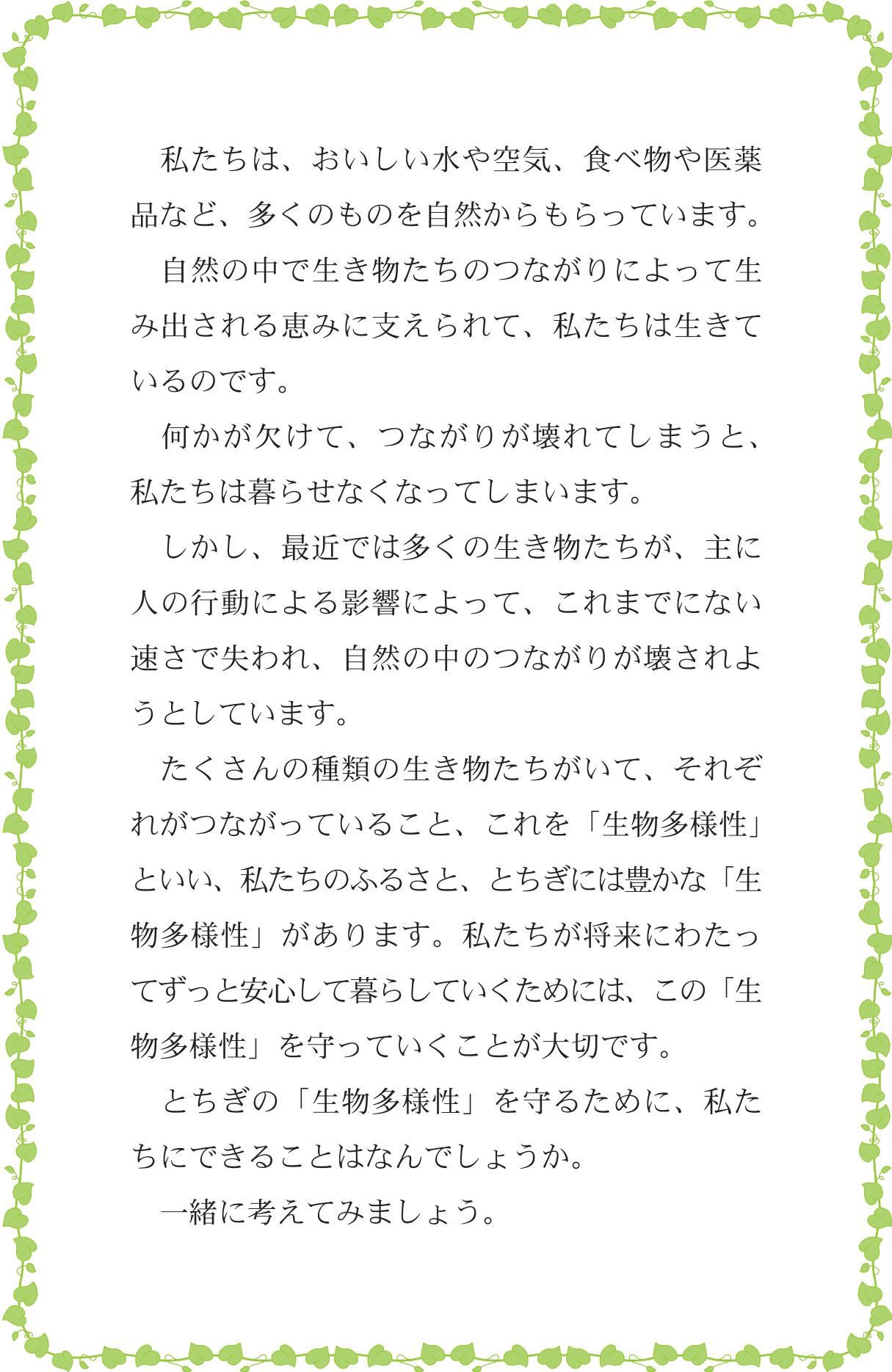


つなごう いのちの共生を いま「わたし」から ～生物多様性とちぎアクションリスト～



平成24年3月

栃木県



私たちは、おいしい水や空気、食べ物や医薬品など、多くのものを自然からもらっています。

自然の中で生き物たちのつながりによって生み出される恵みに支えられて、私たちは生きているのです。

何かが欠けて、つながりが壊れてしまうと、私たちは暮らせなくなってしまうます。

しかし、最近では多くの生き物たちが、主に人の行動による影響によって、これまでにない速さで失われ、自然の中のつながりが壊されようとしています。

たくさんの種類の生き物たちがいて、それぞれがつながっていること、これを「生物多様性」といい、私たちのふるさと、とちぎには豊かな「生物多様性」があります。私たちが将来にわたってずっと安心して暮らしていくためには、この「生物多様性」を守っていくことが大切です。

とちぎの「生物多様性」を守るために、私たちにできることはなんでしょうか。

一緒に考えてみましょう。

1 私たちにできること

- 生物多様性を守ることは大切だってわかっているけど、なんだか難しそう…
- 具体的に何をしたらいいかわからないし…
- 動物も植物も詳しくないんだよな…
- そういうのは行政（国・県・市町村）の仕事じゃないの…

こんなふうに考えてはいませんか？

確かに私たち一人一人では大きなことや難しいことはできないかもしれません。けれど、ちょっとした心がけや工夫をすることで、日々の生活の中でも出来ることはたくさんあるのではないのでしょうか。

一人一人がまずは生物多様性について考えてみたり、身近で簡単なことから生物多様性のために行動してみることで、これがはじめの一步であり、また生物多様性を守るための大きな力へとつながっていくものです。

もちろん、取組の中には、一人ではできないことや専門的な知識がないとできないこともあります。

そんなときは家族やまわりの友達と協力して取り組んだり、身近な専門家の人からアドバイスをもらったりして取組の輪を広げていきましょう。

2 行動してみよう

生物多様性のために何が出来るか、ヒントになる行動例を「気付こう」「学ぼう」「守ろう」「活かそう」「伝えよう」の5つのテーマごとに県民の皆さまから募集（※）し、アクションリストとしてまとめてみました。行動例の中から家族や友達みんなと始められること、実践できることを探して、実際に行動してみましよう。

※(応募総数:367件 募集期間:H23. 4. 25~H23. 10. 30)

生物多様性とちぎ アクションリスト

アクション

1 気づこう

- ・お散歩をして身近な自然を発見しよう！ — 04
- ・生き物をイラストにしてみよう！ — 04
- ・大好きな自然を見つけよう！ — 05
- ・自然の音に耳を傾けよう！ — 05
- ・人間と関わっている生き物を探そう！ — 06

アクション

2 学ぼう

- ・身近な花や草の名前を調べよう！ — 07
- ・在来種と外来種の違いを調べよう！ — 07
- ・身近な生き物の生態を調べよう！ — 08
- ・絶滅種について絶滅の理由を調べよう！ — 08
- ・環境ごとの生き物の違いを調べよう！ — 09

アクション

3 守ろう

- ・環境に優しい商品を選ぼう！ — 10
- ・なるべく自動車を使わないようにしよう！ — 10
- ・自然保護活動に参加しよう！ — 11
- ・ペットは最後まで飼おう！ — 11
- ・野生動物に餌をあげないようにしよう！ — 12

アクション

4 活かそう

- ・地産地消で季節を感じよう！ — 13
- ・自然のものでおもちゃを作ろう！ — 13
- ・緑のカーテンを作ろう！ — 14
- ・手作り堆肥で、野菜を作ろう！ — 14
- ・外来種を駆除して、活用しよう！ — 15

アクション

5 伝えよう

- ・自然について話し合おう！ — 16
- ・お年寄りに自然との遊び方を聞こう！ — 16
- ・地域の文化と自然との関わりを話そう！ — 17
- ・大好きな自然を紹介し合おう！ — 17
- ・生き物の危機について伝えよう！ — 18

気づこう

Let's notice



お散歩をして身近な自然を発見しよう!

家の周りの道ばたや近所の公園など見慣れたいつもの風景でも、足を止めてよく見てみればそこには色々な草花、虫たちがいて小さな世界が広がっていることを発見できるよ。また、同じ場所でも季節ごと、時間によっても違う発見ができるかもしれません。



生き物をイラストにしてみよう!

イラストにするためによく観察してみると、きっと今までは気付かなかったたくさんの発見ができるよ。私たち人間や他の生き物と似ているところ、違うところを探してみよう。



大好きな自然を見つけよう!

近所の自然でもいい。本でしか見たことがない外国の自然でもいい。自分にとって大好きな自然を見つけよう。他のどこにもない、そこだけの自然に気付いたら、きっとそれを守るために何かをしたいと思うようになるはずだよ。



自然の音に耳を傾けよう!

例えば、夜、生活音がまばらになると、そこには自然の音の世界がある。虫たちの鳴き声や風にそよぐ葉っぱの音など色々な音が聞こえてくるはず。こうした音は一つ一つが生物多様性を感じさせてくれる自然からの贈り物。



人間と関わっている生き物を探そう!

生き物はペットとして癒しや安らぎを与えてくれる。また、毎日食べる肉や野菜も生き物だし、医薬品や工業製品だって生き物を利用して出来ていることが多い。私たちは毎日の生活の中で当たり前のように生き物と関わり、支えられているんだよ。

行動例のほかにも自分で考えた「気付こう」があれば下に書いてみましょう。その際、例えば、身近で簡単な行動から始めて、多少の時間や労力を要するがより効果的であると思われる行動の順に並べてみるなど、無理なくステップアップを図っていきましょう!

例) 生き物や自然を眺める時間を持つ。



例) 博物館や動物園、水族館などに行く。



例) 生き物を育ててみる。

ちょっと解説!

奥日光いきものつながり調査会

栃木県では、平成23年度から日光自然博物館に委託して、ラムサール条約湿地である奥日光の湿原を舞台に「奥日光いきものつながり調査会」という自然観察会を実施しています。

こうした、自然と接する機会を提供していくことにより、多くの県民の方々に生き物たちとのふれあいを通して、自然の中での生き物同士のつながりを実感して頂くことを目的としています。



身近な花や草の名前を調べよう!

通学路や通勤路、家の庭など身近な場所にも多くの花や草がある。一つ一つ名前を知ればきっともっと身近に、もっと大切に感じられる。



在来種と外来種の違いを調べよう!

人の手によって外国や他の地域から運ばれてきた外来種は元々いた在来種に大きな影響を与えて、自然界のバランスを崩してしまうことがある。外来種の特長や身近な生き物のなかでどれが外来種かを知ること、それがこれ以上、外来種を増やさないための第一歩になるよ。



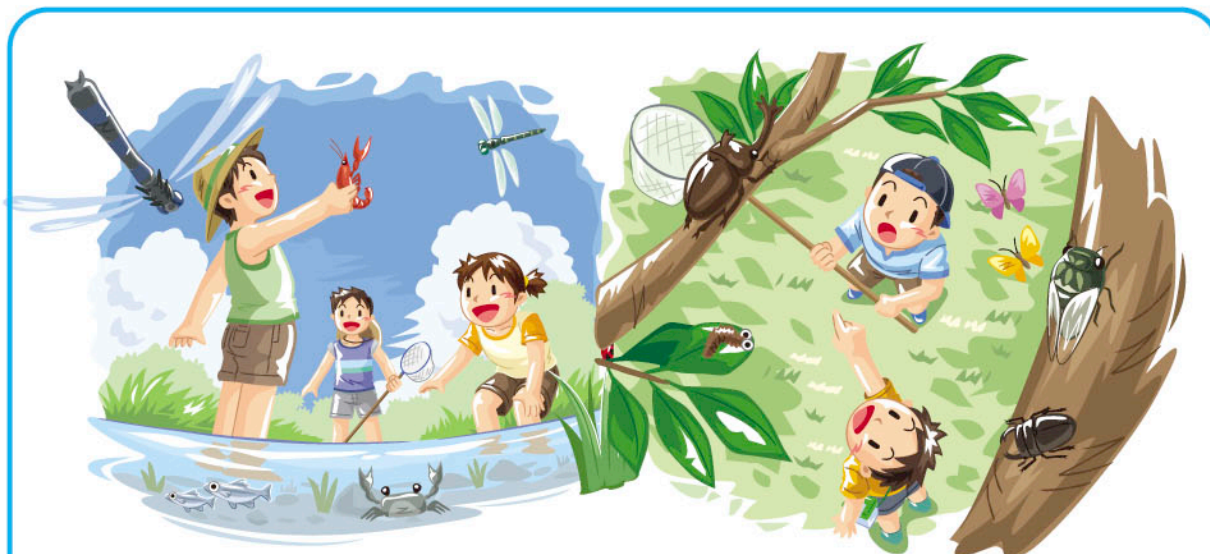
身近な生き物の生態を調べよう!

身近にいるけど知らない、そんな生き物の新しい一面を発見してみよう。生き物たちの生きるための知恵や他の生き物との意外な関わりなど色々なことを学んでみよう。



絶滅種について絶滅の理由を調べよう!

残念ながら既に絶滅してしまったと考えられている生き物はたくさんいるよ。大昔の話では恐竜が有名だし、現代ではニホンオオカミなどが知られている。でも、同じ「絶滅」でも現代の絶滅ではその原因として人間の影響が強くなっているといわれているんだ。



環境ごとの生き物の違いを調べよう!

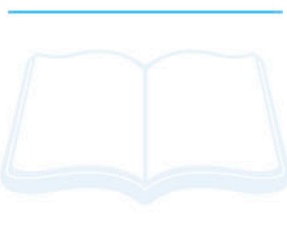
森や川、田んぼなど、それぞれの場所ごとにそこでしか出会えない生き物がいる。生き物には場所ごとにどういう違いがあって、どうしてそういう違いが生まれたのか、自然の不思議に気付くことは生物多様性に気付き、学ぶことだよ。

行動例のほかにも自分で考えた「学ぼう」があれば下に書いてみましょう。その際、例えば、身近で簡単な行動から始めて、多少の時間や労力を要するがより効果的であると思われる行動の順に並べてみるなど、無理なくステップアップを図っていきましょう!

例) 自然や生き物に興味を持ってニュースや新聞を見る。



例) 生物多様性についての本を読んでもみる。



例) 自然観察会に参加する。



みんなで取り組む鳥獣対策事業 (モデル集落)



栃木県では平成23年度より野生鳥獣による農作物等への被害対策として、モデル集落を設定して専門家を招き、集落毎の状況に応じた現状調査や加害鳥獣の生態、様々な対策手法の講習会を実施しています。また、調査や講習会の後には、他の事業も活用しながら、集落全体でヤブの刈払い（潜み場所を無くす）や不要果樹の伐採（獣を誘引するものを無くす）等の取組を併せて行っていくことで、人と獣の棲み分けを図っています。

守ろう

Let's protect



環境に優しい商品を選ぼう!

商品を選ぶとき、どのような企業がどのように作った商品なのかを考えてみよう。もしも、その商品が世界のどこかで自然を壊したりするような方法で作られているとしたら。私たち一人一人が商品のルーツにまで関心を持てば、いつか社会のあり方だって変えられるよ。



なるべく自動車を使わないようにしましょう!

ちょっとした距離でも自動車で移動。こんな人は多いはず。自動車は便利だけど、生き物に大きな影響を与えてしまう地球温暖化の原因の一つでもある。自動車を使わない日を決める、毎日の通勤を自動車から自転車に変えてみる、自分なりに自動車の使用を減らしてみよう。



自然保護活動に参加しよう!

身近なところでもゴミ拾いといったクリーン活動から外来種の駆除といった取組まで、様々な活動が行われている。身近な自然保護活動に参加すると、地域の自然にもっと愛着を持てる。



ペットは最後まで飼おう!

ペットには元々外国の生き物であったり、地域の自然にはいなかった生き物が多くいる。もし飼えなくなったからといって、捨てたりしてしまうと、元々地域にいた生き物に大きな影響を与えてしまう。それに、ペットは「命」のある生き物。まずは身近な「命」を最後まで大切に作る心を持とう。



野生動物に餌をあげないようにしよう!

野生動物は、厳しい自然の中で、自力で餌をとって生きている。人間が餌をあげることは野生動物の通常の生活サイクルを変えてしまい、結果的に動物の自然の中で生き抜いていく力を弱らせてしまう。また、人間の餌を目当てにそれまではいなかった生き物が集まり、生態系が乱れてしまうこともあるよ。

行動例のほかにも自分で考えた「守ろう」があれば下に書いてみましょう。その際、例えば、身近で簡単な行動から始めて、多少の時間や労力を要するがより効果的であると思われる行動の順に並べてみるなど、無理なくステップアップを図っていきましょう!

例) 自然の草花をむやみに取らない。



例) 食べ物は残さず食べる。



例) 自然のエネルギーを取り入れて、省エネ・節電のエコ生活をする。

生態系維持回復事業

栃木県では、平成23年度に県立自然公園などを対象として「生態系維持回復事業」を創設しました。この事業では、外来種の侵入やシカによる食害などによって影響を受けてしまった生態系について、原因となる外来種の駆除などの対策を講じることで積極的に維持回復を図ることを目的としています。



活かそう

Let's Utilize



地産地消で季節を感じよう!

今は世界中から季節に関わらず野菜や果物が集まってくる。それはそれで嬉しいことだけど、昔はもっと季節によって食べられる物が違っていたはず。地域の産物を、旬の季節に味わうことで自然の移り変わりや多様さを感じよう。



自然のものでおもちゃを作ろう!

森で拾った木の実や葉っぱ、石など自然のものを使ったおもちゃを作ってみよう。自然の恵みはみんなの創造力を豊かにしてくれるよ。



緑のカーテンを作ろう!

建物の温度上昇が抑えられて冷房の使用が減らせるし、蝶や小鳥のような生き物も集まってくる。緑のカーテンを育てることは、自然を意識することに繋がるよ。

コンポストで
生ゴミをたい肥に!



手作り堆肥で、野菜を作ろう!

捨てればゴミになってしまう食べ残し等を活かして自分で堆肥を作って使ってみよう。健康な土が出来れば、無農薬で美味しい野菜が作れるよ。

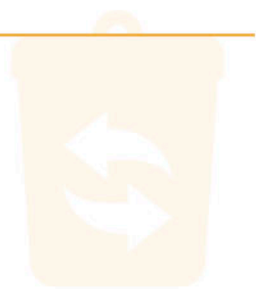


外来種を駆除して、活用しよう!

ブルーギルやアメリカザリガニといった外来種を駆除し、食材として活かしてみよう。地域の人みんなで駆除して食べると外来種についての普及啓発の効果も期待できる。

行動例のほかにも自分で考えた「活かそう」があれば下に書いてみましょう。その際、例えば、身近で簡単な行動から始めて、多少の時間や労力を要するがより効果的であると思われる行動の順に並べてみるなど、無理なくステップアップを図っていきましょう!

例) ゴミは分別して、リサイクルをする。



例) 自然を守る仲間を応援する。



例) 自然エネルギーを使う。



生物多様性モデル林整備事業(明るく安全な里山林整備事業)



里山林は絶滅危惧種を含む多様な生き物の生息・生育地となっています。しかし、近年では手入れ不足によって荒廃が進み、かつては身近に見られた生き物が減少しています。栃木県では、平成23年度から元気な森づくり県民税を財源として、サシバやホタルといった里山林のシンボリックな種の保全再生を図るための環境整備を進め、環境教育などに活用していきます。

伝えよう

Let's tell



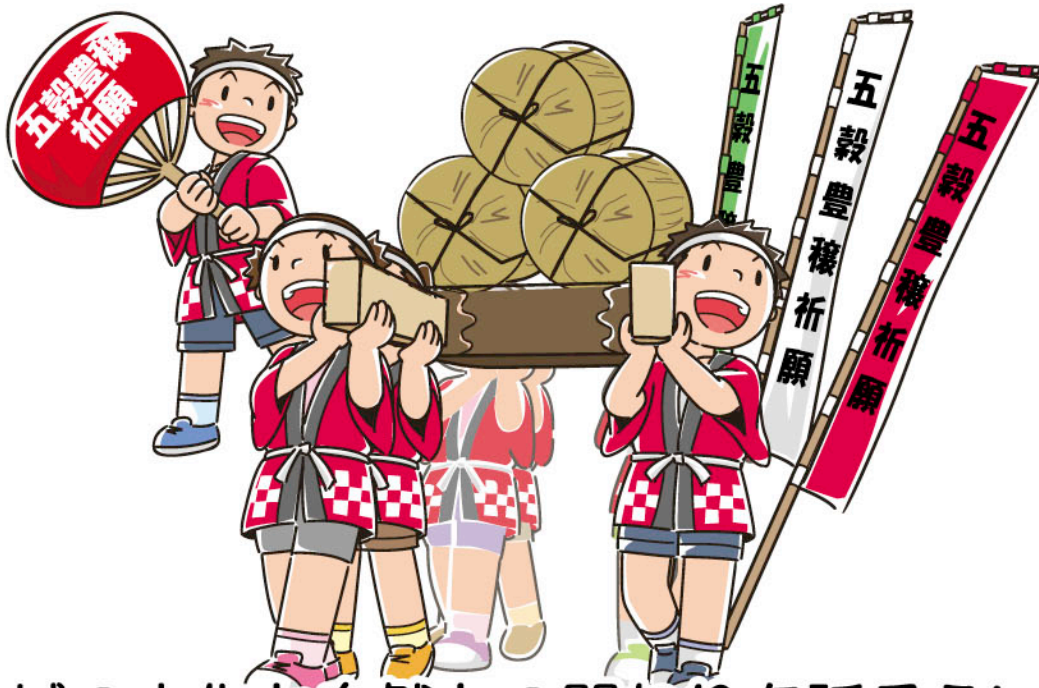
自然について話し合おう!

自然に関わることだったら何でもいい、まずは話題にしてみることで、きっとそれが自然と向き合う第一歩になるよ。



お年寄りに自然との遊び方を聞こう!

お年寄りから話を聞き、自然やそこに住む生き物たちに直接触れ、肌身で感じることで、自然への興味・関心を高めることができる。人と人とのつながり、人と自然とのつながり、それぞれを大切に人や自然と関わる力を育てよう。



地域の文化と自然との関わりを話そう!

昔から続く地域のお祭りや風習は、地域の自然と密接な関係を持っていることが多い。その関係性を受け継いでいくことで、昔からの自然を将来に伝えていこう。



大好きな自然を紹介し合おう!

身近な人から世界中の様々な地域に住んでいる人にまで自分の大好きな自然を紹介してみよう。他の人に紹介することで、きっと自分にとっても新しい発見がある。また、自分が知らなかった世界中の自然を紹介してもらうことで、大好きな自然が増えるかもしれない。

〇月×日 日直

特集
タヌキとアライクマのちがいは？

タヌキ アライクマ

生き物の危機について伝えよう!

今、多くの生き物が絶滅の危機に瀕している。例えば、栃木県内では17,000種を超える生き物が確認されているが、そのうち約950種もの生き物が絶滅の危機に瀕している。こういった現実を多くの人に知ってもらうこと、これが生き物を守るための第一歩につながる。

行動例のほかにも自分で考えた「伝えよう」があれば下に書いてみましょう。その際、例えば、身近で簡単な行動から始めて、多少の時間や労力を要するがより効果的であると思われる行動の順に並べてみるなど、無理なくステップアップを図っていきましょう!



生物多様性アドバイザー

栃木県では、生物多様性や自然保護、県内の野生動植物についての知識や経験がある方たちを生物多様性アドバイザーとして登録し、平成24年度から、環境保全活動などを行う際に活用していただくことで、生物多様性のために自ら行動できる人づくりの支援を行っています。



A large rectangular area with a solid border, containing 15 horizontal dotted lines for writing.

A large rectangular box with a solid border and horizontal dotted lines inside, serving as a memo template. The box is empty and occupies most of the page below the header.



とちぎの森づくり

<http://mori.ecomori-tochigi.jp/>



とちぎの環境

<http://eco.ecomori-tochigi.jp/>



ようこそ奥日光へ!

日光自然博物館
NIKKO NATURAL SCIENCE MUSEUM

<http://www.nikko-nsm.co.jp/>

発行

栃木県環境森林部自然環境課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3207 FAX 028-623-3212

E-mail shizen-kankyou@pref.tochigi.lg.jp

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/index.html>

栃木県自然環境課

検索